

2018年2月10日(土)

雲竜溪谷 (約1500m)

～Report by 高橋(雄)～

雲竜溪谷は、日光の女峰山(2483m)と赤薙山(2010m)の間にあり、大規模な氷瀑が見られることで近年人気が高まっている。クマさん会では、堀さんが2014年にチャレンジして以来、毎年計画され、今年で5度目である。しかし私、高橋(雄)は今回が初参加。実は雲竜溪谷ではヘルメット、10本爪以上のアイゼン装着が推奨されているが、それを持っていなかったため、これまで参加を見合わせていた。しかし昨年、西穂高用にヘルメットを購入し、アイゼンも私のは8本爪だが、先端の2本の爪が前に突き出て、いわゆる出っ歯状態なので、なんとかかなりそうだと判断し、今回参加した次第。

今回の参加者は熊本さん、半澤さん、能勢さん、堀さん、池戸さん、私に、紅一点の中島さんで7名。



朝9:30、東武日光駅集合。

アクセスは、浅草から東武特急で来た人、JRで栗橋まで、栗橋から東武急行で来た人、JR特急でJR日光駅まで来た人と、それぞれである。



駅からは目指す雲竜溪谷、その左に女峰山、右に赤薙山がくっきりと見えていた。



堀さんが予約しておいた2台のタクシーに分乗し、歩行スタート地点の林道ゲート(標高938m)に向かう。

東武日光駅は546mなので、標高差400mをタクシーで上がる。



9:50

林道ゲート(標高 938m)でタクシーを降り、歩行開始。

ここから洞門岩(1228m)まで舗装林道歩き。



雪はあるが除雪され、踏み固められており、気温も 0 度以上はあるようで凍結しておらず、ところどころ雪がなく舗装が見えている所もあり、アイゼン無しで歩けた。



9:58

体温上昇に伴い上着をとる。



10:46

稲荷川展望台 1155m。

トイレらしきものがあったがハシゴが外されて鍵かかかっている。



林道ゲートでスタートの集合写真を撮らなかったのでここで撮った  
バックは赤薙山。

11:18 洞門岩 1232m。

ここで林道を離れ、沢沿いに登ったほうが近道となる。深い雪道となるため、アイゼンを装着。



ここでも標識を挟んで集合写真



沢（稲荷川）を右、左と渡渉をいくつか繰り返しながら登っていく。  
もし転けたら、と決定的瞬間を捉えるべくカメラを向ける・・・？が、幸い皆さん無事でした。



今年は水量が多いようだ。深みにはまらないように慎重に渡る。



沢登りが崖に阻まれ、困難な所まで来ると、こんな急坂（ロープ場）を登って



再び林道に出て、ちょっと歩くと



12:05 雲竜溪谷入り口到着。  
ここで昼食。  
持ち寄った数本のワインで乾杯。



良く晴れて青空。暖かい。  
上空は航空路になっているようで、よく飛行機が飛んでいく。  
(写真左上端、その拡大↓)



昼食後、メインのザックはここにデポして身軽になって溪谷へと進む。



氷瀑の落下等に備えてヘルメットを装着。



12:40  
氷瀑に向けて出発。  
最初は急な階段を沢まで下りる。



溪谷を登っていくと、氷瀑が現れ始めた。



次第に溪谷が狭まり、氷瀑の規模が大きくなって来た。



数回渡渉する。足下は凍っており、アイゼンをしっかり効かせて慎重に進む。



巨大な氷瀑の真下でパチリ。



青空が氷の裏側にも映えている。

氷瀑の裏側で→



氷瀑に見とれていると、突然ドーンと大きな音がした。

氷瀑の一つが壊れて落ちてきたのだ。

大きな破片の一つは堀さん能勢さんの間近まで転がってきた。危ない危ない。



今日は気温が高く、氷からぼたぼた滴がたれている。

この溪谷に今朝早くから来ている人の話では何本か氷瀑が崩壊しているとのこと。

用心しなくては。



雲竜瀑は巨大な氷瀑群のさらに奥にある。

そこに行くためには写真の右手の急斜面の坂を登って回り込んでいく。



坂の上から見下ろした氷瀑群



13:20 急坂の一山を越えて雲竜瀑下に到着。  
本日の最終目的地だ。

気温が高いためか、アイスクライミングをしているパーティーは今日はいなかった。

雲竜瀑は落差 100m以上の 3 段の滝。  
直下からは上の 2 段は見えない。



滝の下の方では地層の割れ目から出てくる水  
でできる氷柱群が独特の景観を作っている。



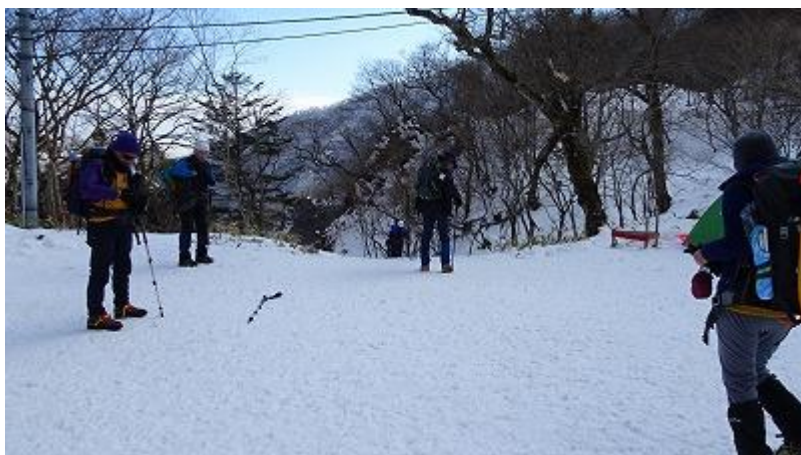


13:50 下山開始。  
崩壊した氷瀑の巨大なかけらの脇を通る。

下りは登りと同じルートのパistonだ。



氷瀑群の溪谷を渡渉しながら下る。



14:20 雲竜溪谷入り口。  
デポしておいたザックを背負って降りる。



14:47 洞門岩。  
晴れて山並みがきれいに見える。



15:12 稲荷川展望台。

ここで携帯電話の電波が通じるようになったので、堀さんが帰りのタクシーを呼んだ。



15:56 林道ゲート入り口にゴール。

迎えに来ていた2台のタクシーに乗る。

今日は雪道では今まで転ぶ人はいなかったが、タクシーに乗る際、当然、アイゼンは外していたので、凍結した足下で滑って尻餅をついた人もいた。



16:20 東武日光駅着。

半澤さんは遠いので、早めの電車で帰るとのことでここでお別れ。

後の6人は予定にはなかったが、やっぱり温泉に入りたいということになり、そのままタクシーで温泉へ。



16:40 温泉「やしおの湯」着。

温泉は予定外だったので、熊本さんは温泉の用意をしておらず、タオル(300円)を購入。



泉質はアルカリ性でツルツルしている。  
遅くなるのでゆっくりはしてられないが  
とにかく恒例の湯上がりの乾杯。



17:44 やしおの湯の玄関前から出るバスで  
東武日光駅へ。



18:13 東武日光発の電車に乗り、下今市で  
18:57 発の特急に乗り換え。  
車内では地酒、杉並木などを飲み交わす。

浅草行きの特急だが、途中、春日部で私は乗  
り換え、能勢さん、堀さんは北千住で乗り換  
えて帰宅。



20:45 浅草着は熊本さん、池戸さん、中島さん。  
まっすぐ帰る？  
いやいや神谷バーの引力は強力だ。



名物デンキブランにカキ料理で舌鼓をうった  
とのこと。



神谷バーの帰りは、過去にはデンキブランが効いて電車で居眠りして乗り過ごす人もいたが、今回はまともに帰宅した由。

というわけで今回の雲竜溪谷は、天候に恵まれ、氷瀑も楽しめ、氷瀑崩壊落下はあったものの全員無事で、誠にメデタシメデタシの一日でした。

と思っていたら、翌日、中島さんからメールが届いた。「カメラがない！」

中島さんが東武鉄道、タクシー会社に問い合わせたが見つからない。温泉「やしおの湯」に電話したら、ありました。玄関前にあったのをフロントに届けてくれた人がいたらしい。やしおの湯から宅急便でカメラを送ってもらい、無事中島さんの元へ。

というわけで今回もハプニングありで充実した山行でした。  
皆さん、お疲れ様でした。

#### 【追伸】

マップと歩行 GPS 記録はこちら↓のヤマレコにアップしました。覗いて見てください。

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1376997.html>